

時代を創る、次代へつなぐ。



栃木県職員募集案内2022



撮影場所：栃木県庁昭和館正庁

ホームページはこちら



知事メッセージ

栃木県は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして半世紀以上にわたり生産量日本一のいちごをはじめとする多彩な食など、多くの魅力にあふれています。都心へのアクセスも良く、多様な産業がバランス良く発展しており、一人当たりの県民所得は全国第3位となっています。また、令和4(2022)年には、本県で第77回国民体育大会「いちご^{いちご}一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご^{いちご}一会とちぎ大会」が開催されます。

現在県では、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」をめざす将来像に掲げ、次の世代につなげる取組を積極的に推進しています。

「栃木県職員ガイド」は、とちぎの魅力・実力に更なる磨きをかけるために活躍している職員を紹介することで、県職員を目指している方・関心のある方が、その業務等について理解を深めていただくために作成したものです。

時代の大きな変化の中で生じる様々な課題を乗り越え、新しいとちぎのかたちを創造するためには、チャレンジ精神にあふれ、柔軟な発想を持つ皆さんの力が必要です。私たちと一緒に、“とちぎ”の未来を創っていきましょう!

令和3(2021)年12月

栃木県知事 福 田 富 一

栃木県が求める人材

高い意欲と
実行力を備えた
「挑戦する職員」

栃木県職員としての
使命感を持った
「信頼される職員」

県民起点の発想で、
県民と連携協力できる
「協働する職員」

インターンシップ・オープンゼミ・現場見学会

「県庁で働くこと」に興味・関心がある学生などを対象に、県庁の業務や職場環境などを紹介するインターンシップ(R3は中止)・オープンゼミ・現場見学会を開催しています。

詳しくはこちら(経営管理部人事課ホームページ)



目次

- 1 知事メッセージ/栃木県が求める人材/インターンシップ・オープンゼミ・現場見学会
- 2 栃木県庁の組織/職員数・組織数
- 3 栃木県職員職種一覧
- 5 職員紹介
- 10 こんな試験もやっています
- 11 ワーク・ライフ・バランスの推進
- 13 県職員Life Q&A
- 14 採用情報
- 15 採用試験等の実施状況/問い合わせ先

表紙写真について

表紙の撮影場所は「栃木県庁昭和館正庁」です。昭和館は、昭和13年から平成15年まで実際に使われた4代目県庁舎の一部です。現在の県庁舎整備に伴い、正面部分を移築し、「昭和館」として生まれ変わりました。昭和館の4階正面中央に位置する部屋が「正庁」です。昭和館の中で最も優美な造りとなっており、現在でも表彰式等で活用されています。表紙には、これまでの“とちぎ”の良さを継承しつつ、新たな未来を創り出していく...そのような意味が込められています。



昭和館

栃木県庁の組織

部局ごとの仕事の内容をチェック!

	部局名	仕事の概要
知事 副知事	総合政策部	重要な政策の企画立案や、組織横断的な課題に迅速かつ的確に対応できるよう、県行政の総合調整を行っています。また、市町村を支援する仕事や地域の振興、デジタル化の推進に関する仕事をしています。
	経営管理部	予算の編成や職員に関すること、行政改革の推進、税の徴収、文書や県有財産の管理、デジタル県庁の推進など、県庁の運営に関する仕事をしています。
	県民生活部	協働の推進や文化の振興、人権啓発、青少年の健全育成や男女共同参画の推進、防災・危機管理、消費者保護・交通安全など安全で安心な県民生活の確保の仕事のほか、広報、統計調査に関する仕事をしています。
	環境森林部	気候変動対策、大気や水などの地域環境や自然環境の保全、資源循環の推進や、廃棄物対策に関する仕事と、森林づくりや林業・木材産業の振興に関する仕事をしています。
	保健福祉部	県民の健康づくり、病気の予防や医療に関すること、高齢者・児童・障害者など県民の福祉の向上を図る仕事や生活衛生の向上に関する仕事をしています。
	産業労働観光部	中小企業に対する融資や経営・技術の支援、新規産業の育成や企業誘致の仕事のほか、国際化への対応や観光の振興、産業人材の育成や雇用の確保などの仕事をしています。
	農政部	農業の担い手の確保・育成、園芸生産の拡大、農地等の生産基盤や農村環境の整備のほか、新技術の開発・普及や農産物のブランド力強化など、農業・農村の振興に関する仕事をしています。
	県土整備部	経済の発展や安全安心な暮らしを支えるため、道路を作ったり、河川を管理したりするほか、土地区画整理、公園、下水道整備、公共交通体系の整備など、快適な県土づくりの仕事をしています。
	国体・障害者スポーツ大会局	令和4(2022)年に開催する第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)・第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)の開催準備に関する仕事をしています。
	会計局	県公金の出納及び決算、物品の調達・管理及び処分等に関する仕事をしています。
	企業局	水力発電による電力の供給や水道用水・工業用水の供給、産業団地等の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラ等を支える地方公営企業の仕事をしています。
県議会	議会事務局	予算や条例など県政の重要な事項を決定する本会議や常任委員会等の運営、議事録の作成、議案の調査等に関する仕事をしています。
人事委員会	人事委員会事務局	職員の採用試験、職員の給与等の勧告、職員の不利益処分に関する審査請求等に関する仕事をしています。
監査委員	監査委員事務局	県の財務に関する事務の執行等の監査に関する仕事をしています。
労働委員会	労働委員会事務局	労使間の紛争に対し、公平・中立的な立場から解決を図るための仕事をしています。
公安委員会	警察本部	安全で安心な地域社会をつくるため、犯罪の予防・捜査、交通取締り、運転免許証の交付などの仕事をしています。
教育委員会	教育委員会事務局	県民が生涯にわたって、学校や家庭、地域など様々な場できいきと学ぶことができるよう、教育・文化・スポーツを盛んにするための仕事をしています。
選挙管理委員会		
内水面漁場管理委員会		
収用委員会		

職員数・組織数 (令和3(2021)年4月1日現在)

●職員数

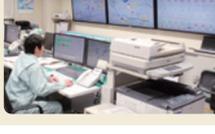
一般行政部門……4,370人
 警察部門……3,874人
 教育部門……14,963人
 公営企業部門……447人

●組織数(知事の事務部局)

本庁 …………… 8部2局66課室
 出先機関 …………… 75

栃木県職員職種一覧

主な職種を掲載しています！ここにはない職種もあります！

P510に掲載	行政 (2,729人)	<p>各種施策の企画立案や、予算編成・執行、庶務などの内部管理業務から、各種事業の推進、県税の賦課徴収、公共事業の用地交渉、許認可などの対外的な業務まで様々な分野で幅広い業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校</p>	▶リモート会議 	▶観光プロモーション 
P10に掲載	行政(福祉系) (6人)	<p>児童相談所における児童虐待の防止や児童・保護者への支援・指導、健康福祉センターでの生活困窮者等への支援を行うほか、福祉に関する各種施策の企画立案や推進等を行います。</p> <p>主な勤務場所 保健福祉課、高齢対策課、障害福祉課、こども政策課、児童相談所、健康福祉センター等</p>	▶福祉に関する相談 	▶保護者との面談 
P20に掲載	薬剤師 (94人)	<p>医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究などの業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 薬務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター</p>	▶医薬品製造業者の調査 	▶試験研究 
P20に掲載	化学 (116人)	<p>産業廃棄物や気候変動などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 環境森林政策課、気候変動対策課、環境保全課、資源循環推進課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター</p>	▶異常水質の調査 	▶分析業務 
P20に掲載	農業 (357人)	<p>農業施策の企画立案、農業の担い手の確保・育成や農地の利用集積、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。</p> <p>主な勤務場所 農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校、農業環境指導センター</p>	▶いちごの生育調査 	▶梨(つごり)の海外プロモーション 
P20に掲載	畜産 (66人)	<p>畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など、畜産業の振興に関する企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター</p>	▶畜産農家の肉牛の発育状況確認 	▶研究施設での豚の発育調査 
P6に掲載	林業 (181人)	<p>森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター</p>	▶スマート林業技術の普及 	▶災害復旧に向けた測量 
P510に掲載	総合土木 (229人)	<p>平成24(2012)年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された人は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します</p>		
P510に掲載	農業土木 (96人)	<p>農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村振興、農村環境整備などの業務に従事します。</p> <p>主な勤務場所 農村振興課、農地整備課、農業振興事務所</p>	▶農業水利施設設備の首上の整備改修 	▶地域資源保全活動(生ゴミ物調査) 
P510に掲載	土木 (306人)	<p>県土づくりに関する企画や計画策定、許認可等を行うとともに、道路、河川等の社会資本の整備・保全や、これらの施設の維持管理、さらに大雨や地震などの異常気象時の緊急対応も担っています。</p> <p>主な勤務場所 県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所、企業局</p>	▶スタジアム工事立ち会い 	▶道路工事立ち会い 
P7に掲載	建築 (72人)	<p>良質な住まいづくりの推進、建築確認・開発許可の指導等、建築物の耐震化などの業務や、学校・県営住宅の整備、県有施設の長寿命化の企画など、県民生活に密接に係る分野で専門的な技術や知識を生かした業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所</p>	▶建築関係法令の検討会議 	▶建築工事現場監督状況 
P7に掲載	電気 (94人)	<p>公営企業の経営に関する企画立案、発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の営繕業務を行います。</p> <p>主な勤務場所 企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)、産業技術センター、建築課</p>	▶発電所タムの監視制御 	▶発電所水車室内の点検 

P7に掲載

機械

(59人)

中小企業等の新製品開発や技術高度化を支援するため、試験研究機関での研究・技術相談等を行うほか、産業技術専門学校において、ものづくり人材の育成を行います。また、県有施設の設備の設計・営繕などを行います。

主な勤務場所 産業技術センター、計量検定所、産業技術専門学校、建築課、企業局(電気課、水道課、発電管理事務所、水道事務所)

▶ 金属部品の切削実験



▶ 浄水場の機械点検



P8に掲載

心理

(48人)

児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。

主な勤務場所 児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、障害者総合相談所

▶ 子どもへのプレイセラピー



▶ 児童・保護者との面接



水産

(14人)

水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術の開発、水域環境・生態系の保全技術の確立及び地域振興につながる水産資源の活用方策などの研究を行います。

主な勤務場所 農村振興課、水産試験場、農業振興事務所

▶ 県オリジナルブランド魚の開発



▶ ドローンによるカワウバ被害防止対策



P9に掲載

保健師

(122人)

地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体の健康を守る仕事です。

主な勤務場所 保健福祉課、医療政策課、健康増進課、感染症対策課、健康福祉センター、衛生福祉大学校

▶ 窓口での個別相談



▶ 精神保健に関する啓発



臨床検査技師

(37人)

健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査を行います。

主な勤務場所 感染症対策課、健康福祉センター、保健環境センター

▶ 細菌検査



▶ PCR検査



栄養管理士

(17人)

健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。

主な勤務場所 健康増進課、健康福祉センター

▶ 給食施設指導



▶ 健康づくりイベント



栄養士

(県立学校勤務 2人
小・中学校勤務 85人)

献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。※小・中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。

主な勤務場所 県立学校/特別支援学校
小・中学校/市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター

▶ 給食室内での衛生管理



▶ 教科等における食に関する指導



職業訓練指導員

(38人)

「ものづくり県とちぎ」の産業を担う実践力を備えた人材の育成を行うため、産業技術専門学校において、就職等に必要の技能・技術の指導や、就職支援等の業務に従事します。

主な勤務場所 労働政策課、産業技術専門学校

▶ 産業用ロボット実習



▶ 機械工作実習



P10に掲載

獣医師

(141人)

家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。

主な勤務場所 生活衛生課、畜産振興課、健康福祉センター、動物愛護指導センター、食肉衛生検査所、家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター

▶ 病理検査



▶ 放牧場での衛生検査



P10に掲載

警察行政

(464人(定数))

組織の運営企画、人事、予算管理や交通安全対策のほか、各種犯罪における証拠品の鑑定、システム開発などの専門的な分野から警察組織運営を支え、栃木県の治安を守る重要な役割を担います。

主な勤務場所 警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校

▶ 指紋の鑑定



▶ 自動車運転の運動能力検査



小中学校事務

(534人)

給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理、教育施設の維持・管理などを行います。学校運営を側面から支える仕事です。※小・中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。

主な勤務場所 市町立の小学校、中学校、義務教育学校

▶ 事務室での電話対応



▶ 備品の相談



様々な人と繋がり栃木を広く知り・深く学ぶ

行政 総合政策部総合政策課 政策調整・地方分権担当

秦 俊太郎

Hata shuntaro

●異動経歴●

- H20～ 栃木県税事務所課税課
事業税諸税担当
- H23～ 税務課課税・収税担当
- H26～ 日産自動車㈱へ派遣
- H28～ 工業振興課ものづくり企業支援室
- R2～ 現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。

関係部署と連携し、知事が記者会見や全国知事会で使用する資料の作成や取りまとめを担当しています。記者会見は、知事が県の取組などを伝える貴重な機会であり、その内容は、保健福祉や環境、土木など多岐に渡ります。また、全国知事会では、新型コロナウイルスをはじめ様々な課題が議論されています。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

最初の2つの所属では課税業務に従事し、次に民間企業派遣として日産自動車㈱で電気自動車の普及促進の業務を経験しました。その後、県内ものづくり企業支援の担当となり、民間企業での経験を生かし、日産自動車㈱と県内企業との展示商談会などを実施しました。これまでの経験を次に活かせるのは守備範囲の広い行政職の醍醐味です。

Q.仕事を進める上で心がけていることや大切にしていることは何ですか。

「思い」を持って取り組むことを大切にしています。例えば、新しい事業を考える際は、県民や関係者の話をよく聞き、自分なりにあれこれ想像して、その思いを事業に込めるようにしています。「思い」のある事業は、同じ思いを持つ仲間を引き寄せ、より磨かれ、ブレることなく確かな結果に結びつく実感しています。



地域に貢献しながら、自己成長できる!

行政 産業労働観光部国際課 国際戦略推進担当

情野 文彩

Seino Ayasa

●異動経歴●

R3～ 現所属



Q.栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

大学進学で一度県外に出たことで、栃木県の住みよさ・魅力を再認識した一方、魅力があまり知られていないと感じることが多くありました。そこで、あらゆる角度から栃木の良さを発信し、「住んでよし、訪れてよし」の地元になりたいと思ったことがきっかけです。大学1年の時に、都内で栃木県出身者が集まるイベント「ジモトチギフェス」に参加し、Uターン就職を考えている同世代の人たちと地元への想いを共有できたことも、Uターンを決めた理由の一つになっています。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。

担当しているメールマガジンに対し、読者から反応をもらった時です。海外在住の栃木県出身者等に、栃木県の旬な情報を配信しているのですが、「普段気が付かない事が掲載されていて、楽しく読ませてもらった」などとコメントをもらった時は嬉しくなりました。また、駐日モンゴル大使の知事表敬に携わったことも印象に残っています。入庁3ヶ月目で大きな仕事に携わることになり、責任とやりがいを感じました。

Q.リフレッシュにはどんなことをしていますか?

休日は友人と趣味のカフェ巡りをしています。県内にカフェが増えているので、1日に2～3件巡って新しいお店開拓を楽しんでいます。年次休暇のほかに、6日間の夏季休暇も取得できるなど、休暇制度が充実していると感じます。



“ONE TEAM” で安心・安全なまちづくりを!

総合土木 土木 県土整備部鹿沼土木事務所 整備部整備第一課

坂本 智紀

Sakamoto Tomonori

●異動経歴●

H31～ 現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。

通学路の歩道整備や、自然災害から人々を守る砂防施設整備などの各事業において、関係者との調整や設計検討、工事発注、現場監督などを行っています。また、台風等によって道路や河川が被災した際には災害復旧業務も担当しています。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。

自分の担当した工事が無事に完了した時です。完了した現場を確認に行った際、地元の方から「安全に通れるようになって良かった。ありがとう。」と声をかけていた時は頑張った良かったと思えました。時には厳しい意見をいただくこともありますが、今後も安心・安全のまちづくりのため、日々頑張っていきたいです。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

入庁した年の10月に起こった令和元年東日本台風の災害対応業務です。災害が起きてからの数ヶ月は復旧の為に奔走しました。この経験を通じて、県民の方々が安心して暮らせる環境づくりをしたいという思いがより一層強くなりました。



とちぎの農業における“基盤づくり”に貢献!

総合土木 農土木 農政部農村振興課 総務企画担当

阿久津 朋恵

Akutsu Tomoe

●異動経歴●

- H25～ 上都賀農業振興事務所
農村整備部整備課
- H28～ 下都賀農業振興事務所
農村整備部整備課
(H31～ 整備第二課)
- R2～ 現所属



Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

農業振興事務所では、農地や農業用施設の整備に係る調査設計や工事の発注、工事現場での監督業務を経験しました。事業を進めるに当たっては、農業者の理解や協力を得ることが重要です。農業土木に関する知識や経験のほか、信頼関係を築くコミュニケーション能力の必要性を実感しました。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。

整備した農地や農業用施設が、実際に農業で活用されているところを見るときにはやりがいを感じます。様々な課題を抱えつつ、上司や先輩、関係者の指導を受けながら、整備した農地や施設で実際に作物が育ち、無事に収穫を迎えたところを目の当たりにすると、地域の農業振興に自分も貢献できたかなと思います。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

排水用の農業用施設で、施設の役割や仕組みについて紹介する見学会を開催したことです。県南地域では、農地の浸水被害防止・抑制を目的とした排水施設が点在しています。近年は全国的に豪雨災害が多発している状況ですので、防災施設として農業者だけでなく一般の方々にも紹介できたことは良い機会だったと感じています。



農業の発展を通じて、地域産業を支えます！



農業

農政部下都賀農業振興事務所
企画振興部
企画振興課

小林 正明

Kobayashi Masaaki

●異動経歴●

- H18～ 農業試験場園芸技術部果樹研究室
- H23～ 下都賀農業振興事務所経営普及部いちご園芸課
- H25～ 農政課食育地産地消担当
- H26～ 農林水産省生産局園芸作物課へ派遣
- H28～ 農政課企画調整担当
- R2～ 現所属

Q.現在の担当業務を教えてください。

栃木県は関東有数の米どころですが、昨今は米の消費が落ち込んでいることから、需要の高い園芸作物の導入を推進しています。具体的には、経営発展を目指す生産者の規模拡大を支援したり、食品業者のバイヤーと生産者をマッチングさせて、商談に発展できるよう支援したりしています。また、農産物の輸出を志す生産者の試験輸出に向けた取組や「いちご王国・栃木」を全国に広めるためのPRを実施しています。

Q.県職員(農業職)の魅力は何ですか。

農業職の魅力は、農業にまつわる様々な仕事に携われることです。普及指導員として生産者と一緒に地域農業の発展のために尽力することもできますし、農業試験場で新品種や新技術の開発を担うこともできます。また、農業大学校で未来を担う若手生産者の育成に携われることもできます。農業という専門性を持つ様々な仕事を通じて、自分のスキルアップを図れます。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

農林水産省に派遣されていた時は、海外のノウハウを応用した次世代の施設園芸を日本全国に展開するために、各都道府県や他省庁、外国の大使館と調整や折衝を行っていました。日本全体の農業政策を知ることができる貴重な経験であったとともに、様々な相手に柔軟に対応した説明の仕方や資料の作り方など様々なことを学びました。

とちぎの畜産の持続的な発展のために

畜産

農政部那須農業振興事務所
企画振興部
企画振興課

阿久津 麗

Akutsu Rei

●異動経歴●

- H26～ 畜産酪農研究センター 芳賀分場肉牛飼養研究室
- H28～ 畜産酪農研究センター 情報企画課肉牛研究室
- H30～ 畜産振興課生産流通担当
- R3～ 現所属

Q.現在の担当業務と職場の雰囲気について教えてください。

畜産関係の施設整備事業や家畜防疫対策など、畜産農家が今後とも安心・継続して経営に取り組むための支援を行っています。職場は、経験の長い先輩方が多く、困っていることや疑問点を気軽に相談したり、方向性を議論できる明るい雰囲気です。農業振興事務所は、畜産職だけではなく、行政職、農業職、総合土木(農業土木)職、水産職など様々な職種の職員がいるので、仕事のやり方や考え方について新しい視点を学ぶことができます。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

畜産酪農研究センターでは、肉用牛の飼養管理に関する研究を行い、飼養管理がうまくいっていない農家に対しては普及指導員とともに指導・助言を行いました。また、畜産振興課では優良な繁殖雌牛導入への支援や肉用牛の能力向上を目的とした共進会の開催支援を行うなど、研究から事業の遂行まで幅広い業務に携わりました。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

栃木県の畜産は、本州一とされる酪農をはじめ、肉用牛・豚・鶏についても生産が盛んであるため、家畜伝染病が発生した場合には、畜産業はもとより、地域全体へ大きな影響を及ぼします。そのため、地域の畜産農場や関係機関などと一体となって、家畜伝染病の発生予防対策や発生に備えた対策を行っています。このように地域で連携して課題解決に取り組むことができるのは県職員ならではの仕事だと思っています。



とちぎの新しい森林・林業を次世代へ！



林業

環境森林部
森林整備課
森づくり担当

介川 友以那

Sukegawa Yuina

●異動経歴●

- H26～ 県西環境森林事務所 森づくり第三課
- H29～ 林業木材産業課 低コスト林業推進担当
- H30～ 林業木材産業課 循環型林業担当
- R3～ 現所属

Q.現在の担当業務と雰囲気について教えてください。

林業に欠かせないスギ、ヒノキなどの苗木を安定的に確保するため、生産から需給調整に関する業務を担当しています。特に、花粉症対策として花粉の少ない品種の苗木生産を促進しています。また、エリートツリーと呼ばれる、成長や品質に優れた苗木を早期に普及させるため、関係機関と連携し採種圃の整備を進めています。職場は業務の不安や悩みを相談しやすい環境であり、安心して業務に取り組むことができます。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

県西環境森林事務所では、崩れた山林の復旧や土石流などを防ぐための森林土木工事を担当し、山地災害の発生時には、職場が一体となって復旧に尽力しました。また、林業木材産業課では、林業の経営に必要な林道、作業道の開設支援、それに係る予算管理のほか、林業・木材産業の普及啓発のため、イベントを活用しパネル展示などによるPRを行いました。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

防災・減災に関する業務で、小学生を対象に森林の働きや土砂災害への備えの重要性を伝える出前講座を行った際、専門用語を使わずに誰もが理解しやすい言葉で説明することの難しさを実感し、その大切さを学びました。森林・林業に馴染みのない方々と話す機会も多いため、相手の目線に立って説明することを意識しています。

建築について幅広い知識が身につきます!



建築

県土整備部
建築課
建築指導班

大鷲 大将

Owashi Daisuke

●異動経歴●

- H23～ 栃木土木事務所建築指導担当
- H26～ 住宅課企画支援担当
- H31～ 栃木土木事務所建築指導担当
- R3～ 現所属



Q.現在の担当業務について教えてください。

建築に関する手続きが円滑に進むよう手続のオンライン化を開始したり、県内の審査ルールを統一するための手引きを作成したりするなど、実際に窓口で県民の対応をする市役所や土木事務所のサポートを行っています。また、市街地再開発事業等が円滑に実施できるよう市町へのアドバイスを行っています。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

住生活月間中央イベント(住宅等に関する全国イベント)を栃木県で開催したことです。イベントには、高円宮妃殿下や国土交通大臣などの来賓対応のため、国土交通省や県警本部などと分刻みの行程を組むなど詳細な打ち合わせをしました。当日は、来賓の方々との行動を共にし会話するなど貴重な経験ができました。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

県の建築職は担当する建物だけを考えるのではなく、地域全体を俯瞰し住環境や建物の安全性を考えるなど幅広い視点で業務することができます。その地域で求められていることを実現するために、国や他県、市町、県民の方と直接お話する機会が多く人脈も広がります。また、建築士などの資格取得のための支援体制が整備されておりスキルアップを図れます。

栃木県に安心安全な電気と水を提供します

電気

企業局
電気課
電源開発担当

野口 紘貴

Noguchi Hiroataka

●異動経歴●

- H27～ 今市発電管理事務所 施設第一課
- H30～ 今市発電管理事務所 板室管理支所
- R3～ 現所属

Q.現在の担当業務と職場の雰囲気について教えてください。

老朽化した水力発電所の大規模改修と新たな水力発電所の開発に携わっています。SDGsやカーボンニュートラルの観点から再生可能エネルギーによるクリーンな電力の供給が世界的に求められており、新規発電所の開発はもちろん、古くなった発電所の設備を一新することで電気の安定供給を図っています。企業局は、同じ電気職の先輩方が多く配属されており、職場の風通しも非常に良く、分からないこともすぐに聞くことができる仕事のしやすい職場です。

Q.これまでにどのような業務を経験しましたか。

今市発電管理事務所では、水力発電所の巡視・点検や工事の設計検討、工事発注、現場監督の業務を行っていました。発電所の巡視・点検では二人一組以上の人数で業務にあたるのですが、経験豊富な先輩方から色々指導してもらいました。また、場所によっては感電などの危険を伴う箇所もあるため、安全第一を心がけていました。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

民間の場合、専門的な分野に特化した業務になることが多いかと思いますが、県庁の場合は電気事業や水道事業など内容の大きく異なる業務に携わることになります。また、電気の知識を生かして環境や防災の仕事に携わる機会もあり、専門分野に限らず、幅広い知識を身に付けることができます。



栃木県の製造業を“技術”の面から支えます!

機械

産業労働観光部
産業技術センター
機械電子技術部

稲澤 勝史

Inazawa Katsufumi

●異動経歴●

- H24～ 現所属



Q.現在の担当業務について教えてください。

企業の技術力向上を支援する業務を担当しています。具体的には、技術的なトラブルに対する技術相談、材料の物性値の測定や金属部品の破壊原因調査に係る破断面観察・成分分析などの依頼試験、当センターが保有する機器を企業の皆様にお使いいただく機器開放、機械加工(切削・研削)の高効率化・低コスト化に資する研究開発などを行っています。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

研修制度を活用して大学で3ヶ月間勉強させていただく機会がありました。機械職(研究職)という立場で企業との関わりを持つ身として、改めて最先端の研究の場で勉強できたのは大変良い経験だったと感じています。これをきっかけとして、仕事と家庭を両立しながら博士後期課程に進み、博士号(工学)を取得することができました。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

民間企業で技術職として採用された場合、高い専門性を求められることが多いと思います。一方で県職員の場合は、専門性を持ちつつも、多種多様な業種の方々からの要望に対応できるよう、幅広い視点と知識に加え、公的視点を持って業務に取り組む必要があります。この点が、民間企業と県職員との違いだと思っています。

人と化学と法令で、とちぎの環境を守る!



化学

環境森林部
小山環境管理事務所
環境対策課

田中 晴隆

Tanaka Harutaka

●異動経歴●

H24～
企業局鬼怒水道事務所水質課
H27～
廃棄物対策課廃棄物対策担当
H30～
現所属

Q.現在の担当業務について教えてください。

廃棄物処理やリサイクルに関する法律に基づき、営業や施設設置に必要な許認可の審査や事前指導を行っています。また、処理施設には定期的に立入検査を行い、施設や書類が適切に管理運用されているかを確認し、法令遵守の徹底を指導しています。不法投棄のような悪質な事案については、警察や市町等の関係機関と連携して対応しています。一筋縄ではいかないことも多いですが、そんなときは職場で知恵を出し合い、組織として対応しています。

Q.化学職の魅力は何ですか。

化学職の魅力のひとつは、技術職でありながら様々な業務を体験できることだと思います。環境保全・廃棄物対策を中心に、リサイクル促進、気候変動対策、試験研究といった環境分野から、企業誘致、上下水道、財政、中央省庁派遣といった、一見化学と遠い世界も体験することもあります。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

化学の知識も大切ですし、仕事をする上で役に立っていますが、県職員としてより重要なことは、模範解答のない多様な課題に対し、法則(法令)の理解とデータ(現場)の積み重ねで最適解を見いだしていくプロセスです。これは化学を学び実践してきた皆さんの力が発揮される場だと思います。

一人一人の心に丁寧に寄り添う仕事です!

心理

保健福祉部
障害者総合相談所
発達・高次脳機能障害支援課

杉本 綾子

Sugimoto Ayako

●異動経歴●

H22～
県南児童相談所判定指導課
H25～
中央児童相談所相談調査課
H28～
中央児童相談所判定指導課
H29～
県南児童相談所判定指導課
R3～
現所属

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

児童相談所では、児童福祉司として児童虐待や非行相談等、お子さんに関する様々な相談に応じました。お子さんや家族の話を丁寧に聞き取り、問題や課題を整理した上で、関係機関と連携して必要な支援を行いました。施設入所等で生活が変わるお子さんに対し、年齢に応じて気持ちの整理を行う等、一人一人を大切にケアを行いました。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

児童相談所では、様々なお子さんと出会い、悩みながら解決に向けて奔走してきました。自立して関わりが終わった後に児童相談所に来て、運転免許取得を報告する子、仕事を頑張っていることを自慢する子など、いろいろな再会の喜びを味わうことができました。自分の足で今を生活している姿と、誇らしげな笑顔が今でも忘れられません。

Q.仕事を進める上で心がけていることや大切にしていることは何ですか。

相談業務では明確な答えが出ず、問題解決に時間がかかることもあります。様々な困難を抱えながらも相談を継続していること自体が、相談者の力だと思います。そうした強みを引き出す声かけや、本来持っている力を発揮しやすい環境を整え、相談者が自分の力で“できた”と感じられる機会をたくさん作ることを意識しています。



とちぎの健康を支える仕事です!



獣医師

保健福祉部
食肉衛生検査所
検査第一課

永島 琴美

Nagashima Kotomi

●異動経歴●

H25～
動物愛護指導センター
普及指導課
H28～
生活衛生課衛生・水道担当
H31～
宇都宮市派遣
(宇都宮市食肉衛生検査所)
R2～
現所属

Q.現在の担当業務について教えてください。

と畜検査員として、出荷された牛や豚の生体検査や、と畜後の内臓・枝肉等の検査を行っています。病気が疑われる場合には精密検査を行い、その結果によっては廃棄処分とするなど、安心・安全な食肉の流通に深く関わっています。また、衛生的に作業が行われているかを点検・指導する業務も行っています。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

動物愛護指導センターでは動物を飼育する際の知識や心構えに関する講習会の開催や、様々な動物取扱関係施設の監視指導を行いました。生活衛生課では、理美容や公衆浴場、旅館、民泊、フリーニングなどに関する法律を担当しました。意外な組み合わせのようですが、どれも公衆衛生と深く関係しているという共通点があります。

Q.県職員ならではの仕事はありますか?

県職員の獣医師にしかできない仕事がたくさんあることを実感しています。特に公衆衛生は、行政の果たす役割がとても重要な分野だと思います。「狂犬病予防員」や「と畜検査員」として法律に基づいて業務を行うことは民間ではできない貴重な経験ですし、動物や公衆衛生の知識が人の健康を支えることに直結しています。

公衆衛生の向上を図り、県民の安全・安心を守ります！



薬剤師

保健福祉部
業務課
温泉・薬物対策担当

高山 璃紗

Takayama Risa

●異動経歴●

H29～
県東健康福祉センター
生活衛生課食品衛生担当
R2～
現所属



Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

最初に配属された保健所では主に食品衛生業務を担当していました。具体的には、飲食店や食品製造工場、学校給食センター等における衛生管理指導や、食中毒予防に関する衛生講習会の講師等を担当しました。また、薬事業務として、医療法に基づく病院への立入検査等を経験しました。現所属では、骨髄バンク登録事業の推進や、温泉の掘削等に係る許認可・源泉監視(ゆう出量・pH等の測定)、浴用施設の監視等を行っています。

Q.民間で働く場合と仕事の違いはありますか。

県の薬剤師は、薬事、食品衛生、生活衛生など、非常に幅広い分野の仕事に携わることができるのが魅力です。いずれも県民の生活に直結した重要な業務です。既に疾患を抱えた患者さんと接する病院・薬局薬剤師と異なり、県の薬剤師は公衆衛生の向上を図り、県民の安全・安心を守る、いわば予防の面での仕事が目立ちます。

Q.仕事を進める上で心がけていることや大切にしていることは何ですか。

県職員の業務は法律に基づくものがとても多く、県民や業者から日々寄せられる様々な相談に対応するためには法律を十分理解することが必要です。上司に相談する際も根拠を明確にした上で、自分の考えを伝えるよう心がけています。また、県民(相手)の立場に立って物事を考えるよう意識しながら業務に取り組んでいます。

県民のこころと体の健康を支えます！

保健師

保健福祉部
県東健康福祉センター
健康対策課

増子 春香

Masuko Haruka

●異動経歴●

H26～
県南健康福祉センター
健康支援課
H30～
障害福祉課
企画推進担当
H31～
障害福祉課
精神保健福祉担当
R3～
現所属

Q.現在の担当業務について教えてください。

指定難病患者の医療費助成申請の窓口業務や家庭訪問による個別支援、関係者向けの研修会やネットワーク形成のための会議を担当しています。難病患者とその家族が地域で安心して療養生活を送れるよう、市町や医療機関と連携し、より良い支援体制を考えています。また、在宅人工呼吸器装着患者が災害時に円滑に避難行動をとれるよう災害時個別支援計画の策定を行っています。

Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

健康福祉センターでは母子保健や精神保健福祉業務を経験し、本庁では精神障害者の地域移行支援や依存症対策等を経験しました。また、西日本豪雨での被災地保健師派遣や令和元年東日本台風での災害対応を経験しました。経験豊富な先輩や頼りになる同僚が周りにたくさんいるので、相談にのっていただきながら前向きに業務に取り組んでいます。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

精神科に長期入院している方の退院支援に携わったことです。病院や市町、相談支援事業所等の関係機関と連携し外泊体験等を繰り返す中で、徐々に地域での生活に自信をつけていく姿は印象的でした。退院したいと思う患者が地域で安心して自分らしく暮らすための環境づくりの重要性を実感するとともに、その実現のために県の保健師として自らが果たすべき役割を再認識する機会となりました。



安全安心な“とちぎ”の実現のために！

警察行政

警察本部
警務部会計課
施設室

須藤 剛士

Suto Tsuyoshi

●異動経歴●

H21～
真岡警察署会計課
H24～
下野警察署会計課
H28～
警察本部警務部会計課
H31～
関東管区警察局へ出向
R3～
現所属



Q.これまでどのような業務を経験しましたか。

警察署では、地域住民と密接に関わる遺失拾得物(落とし物)の取扱いをはじめ、警察活動を支える車両の燃料や消耗品の調達、職員給与事務などを担当しました。警察本部会計課では予算係として、警察本部の施策実施のための予算編成作業に従事しました。

Q.やりがいを感じるのとはどのようなときですか。

警察行政の仕事は、遺失拾得事務、道路使用許可等の各種窓口業務をはじめ、情報管理、警察職員の給与・勤務管理、福利厚生に関する業務など、警察活動を支援する多種多様な業務があります。安全で安心な“とちぎ”の実現のため、警察官と一体となって取り組むことができるところにやりがいを感じています。

Q.今までの業務の中で印象に残っていることを教えてください。

私は昨年まで2年間、関東管区警察局に出向していました。その際、台風による大規模災害が発生し、現状復旧のため各県警察施設の被害状況の確認作業等に従事しました。台風の被害は凄まじいものがありましたが、これらの業務を通して、復旧活動に取り組む各県警察の助けになれたのではないかと思います。



栃木県ではこんな試験もやっています!!

特別枠試験(行政)

法律や政治経済等の専門試験はありませんので、民間企業を志望している方も受験がしやすい試験です。

自分自身の成長が県民サービスの向上になる!!

行政

経営管理部宇都宮県税事務所課税部
個人課税課

沼尾 亮汰

Numao Ryota

●異動経歴●
R3～ 現所属



Q.栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

私たちの生活を豊かにする制度づくりに携わりたいとの考えから、県職員を志望しました。幅広い業務を通して、自分の能力や知識を深めながら、栃木県の魅力の向上につなげられるという点もやりがいがあると感じました。大学を他県で過ごしてきたからこそ、当時住んでいた時とは違った視点で栃木県の魅力を再認識でき、それを伝えたいという思いが決め手になり、リターンすることを決めました。



Q.採用試験のハードルはどのように感じましたか。

特別枠試験の筆記試験は、民間企業の採用試験でも使用されているものであり、専門試験対策が不要であるため、民間企業志望者にとって、試験を受けるハードルは低いと思います。公務員志望者にとっても、筆記試験の負担が軽い分、論文試験や集団討論、個別面接の対策を入念に行うことができます。

Q.県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

行政職では、幅広い仕事に携わることになります。数年ごとに異動を重ね、県民や県庁内部の方とのつながりを深めながら、様々な分野で栃木県の発展に貢献できることが魅力です。ぜひ、栃木県の未来と一緒に作っていきましょう!



社会人対象試験(行政・総合土木)

対象者は、主に民間企業等で働く30歳代の方です。社会人経験等を重視するので専門試験はありません。

とちぎの未来を築く仕事

総合土木

県土整備部技術管理課技術調整担当

清水 智

Shimizu Satoshi

●異動経歴●
H27～ 日光土木事務所整備第二課
H30～ 福島県いわき建設事務所
復旧・復興部道路・橋梁課
H31～ 現所属



Q.採用試験のハードルはどのように感じましたか。

遠隔地からの受験であったため移動は大変でしたが、1次試験では教養試験と論文試験のみであったことから、試験のための特別な準備は必要なく、前職の仕事と両立しながら受験することができました。当時は社会人対象の採用試験を行う県が少なく、かつ、2次試験が個人面接のみであることも受験の動機となりました。



Q.栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

前職は建設コンサルタントとして官公庁発注の砂防、地すべり対策の調査、設計業務に携っていました。コンサルタントは多くの現場を担当することができる一方、設計した施設の完成を見ることは少なく、業務の区切りで縁が切れてしまうことに寂しさを感じていました。業務を通じて県職員の方とも接する中で、計画段階から施工、維持管理段階まで主体的に携わることができることに魅力を感じ、県職員になりたいと考えました。

Q.県職員の福利厚生は充実していると思いますか?

入庁して2人の子宝にも恵まれました。通常の有給休暇に加えて、子供が風邪を引いたときなどに取得できる「子の看護休暇」制度も設けられているため、リフレッシュのための計画的な休暇と切り分けることができる点は大変ありがたいです。



行政(福祉型)

大学卒業程度(通常枠)試験に追加された職種です。主に福祉分野の業務に従事します。

日々の暮らしを支える仕事

行政

保健福祉部中央児童相談所
相談調査課

大出 和

Oide Nodoka

●異動経歴●
R3～ 現所属



Q.栃木県職員になろうと思ったきっかけは何ですか。

私は、東京の大学で社会福祉の勉強をしていました。将来は児童福祉分野に携わりたいという思いがあり、その中でも、児童相談所等行政の立場から、子どもたちの暮らしを支える仕事ができたいと考え就職活動をしていました。県外での就職も考えていましたが、栃木県で行政(福祉型)の採用が始まったと知り、愛着のある、住み慣れた地元で仕事したいと思い、栃木県職員を志望しました。



Q.現在の担当業務を教えてください。

現在は地区担当のケースワーカーとして、家庭での生活が難しい児童の支援等を行っています。子どもやその家族の人生に関わる仕事であり、壁にぶつかることも多いですが、分からないこと・悩んでいることを相談すれば、先輩方がその都度真剣に考えて応えてくださるため、安心して業務に取り組むことができます。

Q.県庁に入る前と後でイメージは変わりましたか。

行政(福祉型)の採用が始まったばかりということで、入庁前は、どのように受け入れられるのか、専門性が生かせるのか等の不安がありました。実際に働く中で、福祉に関することを先輩から質問されたり、様々な仕事を任せられたりと、行政(福祉型)としてのやりがいや責任感を感じています。福祉型の同期は、社会福祉士や保育士等の資格、福祉現場での勤務経験を活かしながら、それぞれの現場で活躍しています。



障害者対象選考考査

障害者を対象とした採用試験(選考考査)を実施しています。令和4年度の試験情報は、HP等で随時掲載していきます。

県庁内のDX推進でとちぎを変える!

行政

経営管理部行政改革ICT推進課
情報基盤担当

福田 和実

Fukuda Kazumi

●異動経歴●
H30～ 現所属



Q.現在の担当業務を教えてください。

県庁の情報インフラの運用・整備に関する業務を担当しています。職員の働き方改革を推進するためのテレワーク環境の整備、業務で使用するパソコンやICTツールの選定、県庁内のパソコンの不具合やシステムに関する相談・対応を行っています。



Q.職場環境や職場の雰囲気について教えてください。

私は車椅子ユーザーのため、動線の確保やプリンタの配置など、障害の特性に応じた環境整備についてできる限り考慮していただいております。また、これらについて気兼ねなく相談することもできます。また、障害上、対応が難しいことなどあれば、気軽にお願いできる優しい職員の方ばかりです。

Q.県職員(障害者選考採用)を目指している方へのメッセージをお願いします。

県庁には数多くの業務があるため、障害があっても、自分が輝ける仕事があると思います。解決していくべき行政課題はたくさんありますが、栃木県をより良くしていくために一緒に働きましょう!





ワーク・ライフ・バランスの推進

栃木県では、全ての職員が仕事と生活の両方を充実させる「ワーク・ライフ・バランス」を実現し、能力を最大限発揮できる職場環境づくりに取り組んでいます。



時差出勤、休日・休暇、テレワーク

勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までです。ワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的として、一部の職場を除き、時差出勤(午前7時から午前10時までの間で30分毎に勤務開始時間を変更した勤務パターン)を選択することもできます。

完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除き土曜日と日曜日は週休日となっています。

年次休暇(有給休暇)は年度ごとに20日が付与されます。このほかにも夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇等の特別休暇や、介護休暇・育児休業制度等があります。

また、場所にとらわれない柔軟な働き方として、業務内容に応じテレワーク(自宅やサテライトオフィスでの勤務)の実施を推進しています。



福利厚生

地方職員共済組合が、短期給付(健康保険)と長期給付(年金)のほか、次のような事業を実施しています。

・健康管理事業

定期健康診断、人間ドック、婦人科検診、心の健康相談、歯の健康相談、禁煙サポート対策事業などを実施しています。

・元気回復事業

各種スポーツ大会、各種レクリエーション事業、サークル運営助成などを行っています。

・貸付事業

住宅貸付(住宅購入等)、普通貸付(生活用品の購入等)、災害貸付(災害復旧)、特別貸付(入学、結婚、葬祭等)などの資金の貸付を行っています。

公務災害に認定された場合には、様々な補償が受けられます。

また、県内2カ所に職員住宅があり、世帯・単身を問わず、入居が可能です。



ソフトボール大会



工場見学ツアー

仕事と子育て両立中!!

農政部農政課
食育・地産地消担当
沼尾 小百合 Numao Sayuri

異動経歴
H15～ 経営技術課環境保全型農業担当
H18～ 農業試験場病理昆虫研究室
H20～ 農政課首都圏農業推進室・農政戦略推進室
H26～ 河内農業振興事務所企画振興課
H30～ 総合政策部地域振興課地域振興・移住促進担当
R2～ 現所属

Q.利用した休暇・休業の種類と期間を教えてください。

1人目が早産となり子供の発達が遅かったため、育児休業(子が3歳に達する日まで取得可能)を取得し、2年間の休業をいただけたことは非常に助かりました。また、それぞれの子で、2歳までは育児時間休暇、2歳以降は育児のための部分休業を活用することで、子供達の送迎と通勤をゆとりをもって行うことができました。

Q.職場復帰はスムーズにできましたか?

復帰前には仕事の内容や進み具合などを職場から丁寧に情報提供いただき、復帰後の仕事の配分も周囲からのサポートがありました。特に復帰2か月は子供がすぐに熱を出して1週間おきに休みをとるような状態でしたが、グループの方々の理解と、同業の夫側の職場の配慮もあって、復帰したばかりの時期を毎回乗り越えることができました。

Q.県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

仕事にやりがいを持って取り組めることが、必ず家庭環境の充実とメリハリにもつながると思います。県では、結婚や子育てなど、人生のターニングポイントに応じて、自身の生活と能力を段階的に構築できる制度や体制が整っています。同じ気持ちで取り組める仲間と出会い、人生の学びにたくさん巡り合える栃木県庁に、是非お越しください!



ある1日のタイムテーブル

6:30	子供達の朝ごはん
7:15	夫出勤
7:30	長女を小学校登校班引き渡し(義父)
7:50	次女と長男を保育園へ送り
9:30	部分休業(1時間)により登庁
17:30	次女と長男を保育園へ迎え(夫)
19:00	子供達へ夕食・洗濯、次の日の食事準備を夫と分担
21:30	長男の寝かしつけ(夫)
23:00	次の日の育児の分担について夫と話し合い



仕事と子育ての両立支援



栃木県では、男性職員も女性職員も、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働ける職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。



●子育てを応援する休暇制度等

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等	産前8週	出産	産後2週	産後8週	2歳	3歳	小学校就学	小学校4年生	中学校就学
出産休暇(産前産後休暇)		○	産前8週間、産後8週間	■	■	■	■					
妻の出産時の休暇	○		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内 時間単位の取得も可能		■							
妻の出産時の子の養育休暇	○		出産の前後8週間の間で5日の範囲内 時間単位の取得も可能		■	■						
育児休業	○	○	子が3歳に達する日まで				■	■	■			
育児のための部分休業	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合: 1日を通じて2時間を超えない範囲内				■	■	■			
育児短時間勤務	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合: 希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能				■	■	■			
育児時間休暇	○	○	2歳未満の子どもを養育する場合: 1日2回を超えず合計90分の範囲内				■	■	■			
子の看護休暇	○	○	中学校就学前の子を看護する場合: 5日の範囲内(小学校就学前の子が複数いる場合は10日) 時間単位の取得も可能				■	■	■			
フレックスタイム制	○	○	小学校4年生までの子を養育する場合: 所定の期間内における1週間当たりの勤務時間が38時間 45分となるように1日の勤務時間を割り振ることが可能				■	■	■			

●育児休業等取得状況 ※教育委員会、警察本部を除く

(1) 育児休業取得率

	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
男性職員	30.5%	13.8%
女性職員	100.0%	100.0%

(2) 男性職員の子育て目的の休暇取得率

	令和2(2020)年度	令和元(2019)年度
妻の出産時の休暇	91.5%	90.4%
妻の出産時の子の養育休暇	62.2%	48.9%

ワーク・ライフ・バランス実践中!!

人事委員会事務局総務課
総務・任用担当

猪之詰 顕 Inotsume Akira

- 異動経歴
- H19～ 東北健康福祉センター総務課
 - H22～ 都市計画課景観づくり担当
 - H25～ 青少年男女共同参画課男女共同参画担当
 - H26～ 人権・青少年男女参画課男女共同参画担当
 - H29～ 現所属

Q. 育児休業を取得しようとしたきっかけを教えてください。

また、育児休業を取ることに對して、職場の雰囲気はどうでしたか?

前所属で、男性の家庭参画の重要性を啓発する業務を担当していたこともあり、「自分に子どもが生まれたら絶対に取得したい!」と思っていました。上司をはじめ、業務を引き継いでくれた担当の皆さんの理解・協力をいただいたことに感謝しています。もし育休の取得を考えている人がいたら、積極的に後押ししたいですね。

Q. 仕事と趣味(マラソン)をうまく両立させているようですね。

詳しく教えてください。

平日は早朝と昼休みの1日2回、休日は家庭を優先しつつ時間を生み出すなど、できる限り時間を見つけて走っています。高校から陸上を続けていますが、社会人になってベストタイムを更新でき、福岡国際マラソンや栃木県都市町対抗駅伝に出場するなど、充実したマラソンライフを送ることができています。ランニングは自身の体力・競技力・精神力の向上だけでなく、季節を感じることで、頭がスッキリするなど、生活リズムの確立にもメリットが大きいと感じています。

Q. 県職員を目指している方へのメッセージをお願いします。

私は、マラソンを通じた県庁内外の仲間との出会いや、育児休業や休暇取得による積極的な子育てへの関わりなど、仕事もプライベートも充実した日々を過ごせています。プライベートを大切にしながら、いきいきと働きたい!と考えている皆さん、栃木県庁で思いをカタチにしてみませんか。



ある1日のタイムテーブル

- 5:00 起床・早朝ランニング
- 5:40 家事
- 6:10 朝食・出勤準備
- 7:00 出勤
- 8:30 勤務開始
- 12:00 昼休み
(30分ランニング)
- 13:00 勤務開始
- 18:00 退庁
- 19:30 帰宅・夕食・子どもとのふれあい
- 20:30 家事・風呂
- 22:00 ストレッチ・就寝



Q1 給与について教えてください。

A 初任給は、右の表のとおりとなっています。(令和3年(2021)12月現在)。
勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、一定の基準により加算されます。

家族構成や勤務状況等に応じて、扶養手当、地域手当、通勤手当、住居手当、超過勤務手当などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして期末・勤勉手当が6月と12月の年2回、合計で4.30か月分が支給されます(在職期間等によって異なります)。

原則として年に1回、勤務成績等に応じて昇給があります。

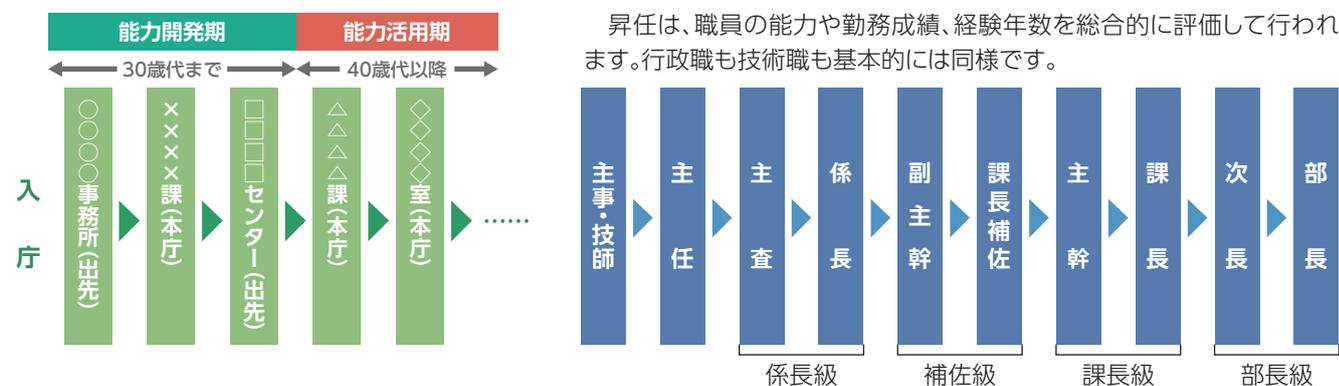
修士課程者	研究職	223,500円
	医療職(2)	207,300円
6年制大学卒	医療職(2)	213,500円
	行政職	188,700円
4年制大学卒	研究職	205,500円
	医療職(2)	194,700円
短大卒	行政職	165,900円
高校卒	行政職	154,900円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用。
就職氷河期世代対象採用試験及び障害者を対象とする採用選考審査での採用者の初任給は、高校卒を基本として、職歴や学歴等を考慮の上、決定されます。

Q2 人事異動はどのように行われますか。また、どのように昇任するのですか。

A 職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3~4年のサイクルで異動があります。
能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。

また、配属先は、職種(行政職・技術職)や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。異動にあたっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



Q3 研修制度について教えてください。

■ 研修所研修

● 必修研修

採用時や採用3年目に行う基礎研修と、各階層への昇進前に行う能力開発研修があります。



新採用職員研修

新採用職員研修では、県職員としての基本的な知識・スキルを習得するとともに、グループワークなどにより、同期入庁者との絆を深めることができます。

● 特別研修

円滑な合意形成を図るための能力を習得する研修や、政策の普及啓発や効果的なPR手法を学ぶ研修などを受講することができます。

■ 派遣研修

中央省庁における政策形成や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県庁では経験できない業務に従事することで、能力の開発を図るものです。

いずれも公募制で参加希望者を募集しています。

<令和3(2021)年度における職員の主な派遣先>

内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、林野庁、経済産業省、国土交通省、環境省、県内11市町(株)足利銀行、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)JT B、NTT東日本(株)、(一財)自治体国際化協会、(一財)地域活性化センター

■ 自己啓発支援

県行政に関する事項について自主的に研究を行う職員グループに対し、一部助成金の支援を行っています。また、指定通信教育機関の講座を割引で受講できる制度や、自治大学校のオンライン講座を受講できるe-ラーニング研修が用意されています。

■ 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で指導担当者(メンター)等のフォローアップを受けながら事務処理等のスキルを身につけていきます。また、県は所管する法令や制度などが多岐にわたっているため、配属された各部局等において、それぞれ必要な研修を実施しています。

採用情報

● 試験日程・種目

試験区分※1		実施予定時期※2		第1次試験			第2次試験	
		第1次試験	最終合格	教養試験	専門試験	論文試験	論作文試験※3	口述試験※4
大学卒業程度	特別枠	4月下旬	6月中旬	●		●		●
	通常枠	6月下旬	8月下旬	●	●		●	●
高校卒業程度		9月下旬	10月下旬	●	● (一部職種のみ)		●	●
社会人対象		9月下旬	12月上旬	●		●		●
障害者を対象とする選考考査		10月下旬	12月中旬	●			●	●

※1 記載の試験区分は代表的なものです。このほかにも試験や選考を実施しています。

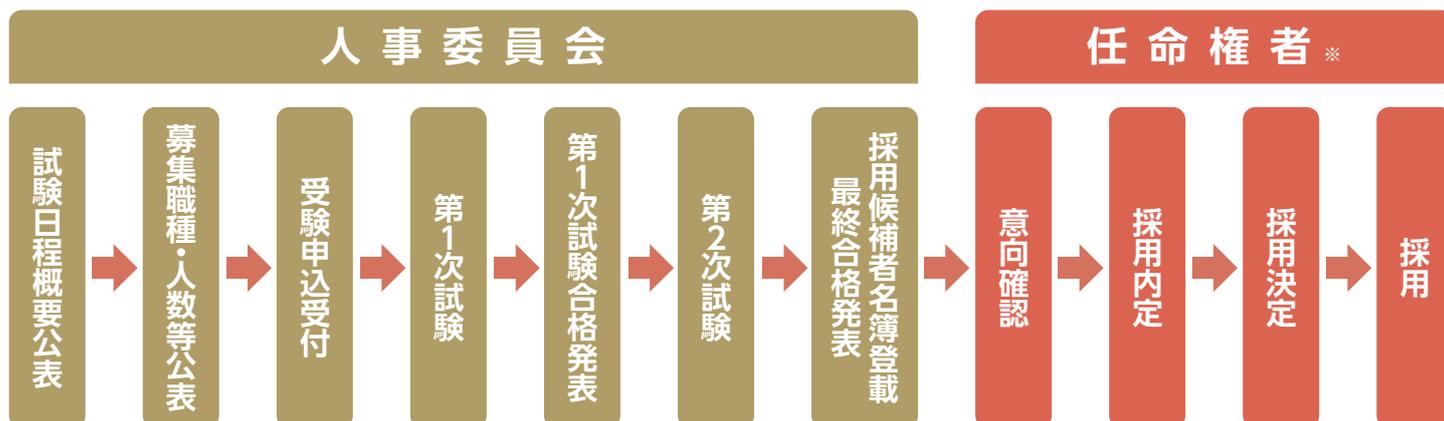
○○卒業程度とは、試験問題の難易度を示しているもので、年齢などの受験資格を満たしている方は、原則学歴に関係なく受験できます。

※2 **令和3(2021)年12月現在の予定であるため、詳細な日程については、必ず各受験案内等で確認してください。**

※3 論作文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。

※4 口述試験は試験区分によって回数が異なります。

● 採用までの流れ 基本的な採用までの流れは以下のとおりです。



※ 任命権者とは、知事、教育委員会、警察本部長などです。具体的な採用に関する事務は、各任命権者の採用事務担当課が行います。

● 試験等に関する情報

ホームページ

・採用試験に関する情報や、県職員の業務内容・職員紹介などを掲載
(本冊子で紹介した職員のメッセージを詳しく掲載!)



栃木県職員採用

検索

ツイッター・フェイスブック・インスタグラム

・採用試験や説明会などの情報や県職員の業務内容などを
タイムリーに発信!



Twitter



Facebook



Instagram

お申込みは、電子申請が便利です!

受験申込みは、パソコンやスマートフォンでできる電子申請を御利用ください。電子申請システムはコチラ



栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成29(2017)～令和3(2021)年度)

【大学卒業程度】

職 種	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
行 政 (特 別 枠)	—	—	10名程度	20名程度	20名程度
行 政	82名程度	70名程度	50名程度※	40名程度	45名程度
行 政 (福 祉 型)	—	—	—	10名程度	10名程度
薬 劑 師	4名程度	1～2名	3名程度	3名程度	5名程度
化 学	3名程度	5名程度	5名程度	5名程度	1～2名
農 業	8名程度	10名程度	10名程度	20名程度	10名程度
畜 産	1～2名	2名	3名程度	5名程度	8名程度
林 業	5名程度	5名程度	3名程度	8名程度	8名程度
総 合 土 木	25名程度	20名程度	15名程度	35名程度	35名程度
総 合 土 木 (2 回 目)	—	—	—	5名程度	15名程度
建 築	1～2名	2名	5名程度	3名程度	3名程度
電 気	1～2名	2名	5名程度	5名程度	5名程度
機 械	—	—	3名程度	5名程度	6名程度
心 理	1～2名	2名	3名程度	10名程度	8名程度
心 理 (2 回 目)	—	—	—	—	4名程度
水 産	—	1～2名	1～2名	—	1名
警 察 行 政	6名程度	8名程度	9名程度	5名程度	15名程度
小 中 学 校 事 務	22名程度	20名程度	15名程度	15名程度	10名程度

※福祉型を含む

【高校卒業程度】

職 種	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
行 政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
総 合 土 木	—	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
電 気	—	—	—	1～2名	1～2名
警 察 行 政	6名程度	6名程度	3名程度	3名程度	5名程度
小 中 学 校 事 務	5名程度	4名程度	4名程度	5名程度	3名程度

【資格・免許職】

職 種	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
保 健 師	11名程度	3名程度	5名程度	5名程度	10名程度
栄 養 士 (県 立 学 校)	—	—	1～2名	1～2名	1名
栄 養 士 (小 中 学 校)	8名程度	6名程度	12名程度	1～2名	5名程度

【社会人対象】

職 種	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
行 政	—	5名程度	5名程度	15名程度	15名程度
総 合 土 木	3名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度

【選考考査】

職 種	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
歯 科 衛 生 士	—	1～2名	—	1名	—
精 神 保 健 福 祉 士	1～2名	1～2名	1名	1名	—
職業訓練指導員(電気系)	—	1名	—	—	—
職業訓練指導員(機械系)	2名	—	—	—	2名
獣 医 師	13名程度	2名	5名程度	10名程度	10名程度
獣 医 師 (2 回 目)	—	—	—	8名程度	5名程度
埋蔵文化財発掘調査技術者	1～2名	—	—	—	—
学 芸 員 (版 画)	—	—	—	1名	—
学 芸 員 (日 本 美 術 史)	1～2名	—	—	—	—
学 芸 員 (油 彩 画)	—	—	—	—	1名
博物館資料専門員(菌類・蕈菌類)	—	—	—	1名	—
犯罪鑑識技術者(法医)	—	1～2名	—	1～2名	1名
犯罪鑑識技術者(化学)	1～2名	—	—	—	—
犯罪鑑識技術者(物理)	1～2名	—	—	—	1名
犯罪鑑識技術者(心理)	—	1～2名	1～2名	—	1名
少 年 補 導 職 員	—	—	—	—	1名
警 察 情 報 処 理 技 術 者	—	1～2名	—	1名	—
行 政 (障 害 者 対 象) ※	3名程度	3名程度	5名程度	5名程度	5名程度
警 察 行 政 (障 害 者 対 象) ※	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名
小 中 学 校 事 務 (障 害 者 対 象) ※	1～2名	1～2名	5名程度	5名程度	1～2名

※対象となる障害種別

H30(2018)年度以前:身体障害者

R元(2019)年度～:身体障害者、知的障害者、精神障害者

この表に記載のない次の職種については、担当課にお問い合わせください。
●看護師、児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

令和3(2021)年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

【大学卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政 (特 別 枠)	669	556	80	30	18.5
行 政	356	212	134	61	3.5
行 政 (福 祉 型)	29	22	14	10	2.2
薬 劑 師	6	5	5	5	1.0
化 学	17	11	8	3	3.7
農 業	48	38	30	14	2.7
畜 産	11	7	7	5	1.4
林 業	18	14	10	9	1.6
総 合 土 木	45	34	24	20	1.7
総 合 土 木 (2 回 目)	25	17	8	5	3.4
建 築	11	10	6	5	2.0
電 気	12	7	5	5	1.4
機 械	15	13	10	6	2.2
心 理	21	16	9	4	4.0
心 理 (2 回 目)	38	28	12	6	4.7
水 産	7	6	6	1	6.0
警 察 行 政	57	40	20	10	4.0
小 中 学 校 事 務	147	90	31	13	6.9

【高校卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	81	73	16	9	8.1
総 合 土 木	13	13	8	6	2.2
電 気	6	5	2	1	5.0
警 察 行 政	24	23	15	9	2.6
小 中 学 校 事 務	35	32	8	5	6.4

【資格・免許職】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保 健 師	34	20	17	11	1.8
栄 養 士 (県 立 学 校)	3	3	3	1	3.0
栄 養 士 (小 中 学 校)	49	47	16	5	9.4

【社会人対象】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	184	126	45	19	6.6
総 合 土 木	12	8	6	4	2.0

【選考考査】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
職業訓練指導員(機械系①)	1	1	1	1	1.0
職業訓練指導員(機械系②)	1	1	1	0	—
獣 医 師	7	7	7	5	1.4
獣 医 師 (2 回 目)	8	5	4	1	5.0
学 芸 員 (油 彩 画)	10	7	5	2	3.5
犯罪鑑識技術者(法医)	18	14	5	2	7.0
犯罪鑑識技術者(物理)	5	2	2	1	2.0
犯罪鑑識技術者(心理)	20	12	5	2	6.0
少 年 補 導 職 員	5	4	1	1	4.0
行 政 (障 害 者 対 象)	35	25	19	4	6.3
警 察 行 政 (障 害 者 対 象)	25	18	11	1	18.0
小 中 学 校 事 務 (障 害 者 対 象)	14	11	7	1	11.0

問い合わせ先

栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 南館1階
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318
e-mail jinjiin@pref.tochigi.lg.jp